

技術基準一覧

無線設備 (略称)		SC-FDMA又はOFDMA携帯無線通信 陸上移動中継局及び陸上移動局（中継）	
試験項目等			
周波数範囲		27.0GHz～28.2GHz 28.2GHz～29.1GHz（ローカル5G） 29.1GHz～29.5GHz	
周波数の許容偏差		ア 陸上移動局対向（下り） $\pm (0.1 \times f \times 10^{-6} + 12) \text{ Hz}$ イ 基地局対向（上り） $\pm (0.1 \times f \times 10^{-6} + 12) \text{ Hz}$ f ：送信周波数（Hz）	
占有周波数帯幅の許容値		チャンネル間隔50MHz 50MHz チャンネル間隔100MHz 100MHz チャンネル間隔200MHz 200MHz チャンネル間隔400MHz 400MHz	
スプリアス発射又は不要発射の強度（スプリアス領域）		ア 陸上移動局対向（下り） 30MHz以上1,000MHz未満 $-13 \text{ dBm}/100 \text{ kHz}$ 以下 1,000MHz以上送信周波数帯域の上限周波数の2倍未満又は60GHz未満 $-13 \text{ dBm}/1 \text{ MHz}$ 以下 23.6GHzを超え24GHz以下（搬送波の送信周波数帯域が27GHzを超え27.5GHz以下の周波数にかかる場合に限る。） $-9 \text{ dBm}/200 \text{ MHz}$ 以下 イ 基地局対向（上り） 6GHz以上12.75GHz未満 $-13 \text{ dBm}/1 \text{ MHz}$ 以下 12.75GHz以上送信周波数帯域の上限周波数の2倍未満 $-13 \text{ dBm}/1 \text{ MHz}$ 以下 23.6GHzを超え24GHz以下（搬送波の送信周波数帯域が27GHzを超え27.5GHz以下の周波数にかかる場合に限る。） $-5 \text{ dBm}/200 \text{ MHz}$ 以下 詳細は本文参照	
空中線電力	指定値	1. 陸上移動中継局 規定なし 2. 陸上移動局（中継） 200mW	
	許容偏差	1. 陸上移動中継局 上限 +22.4% 下限 -7.0% 2. 陸上移動局（中継） 上限 +22.4% 下限 -7.0% 詳細は本文参照	